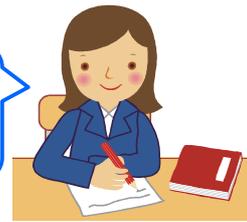


# 佐賀県の財政状況（令和5年度決算）

佐賀県の財政って、  
どうなっているの？



問1 そもそも県って何をするとところなの？

みんなが、よりくらしやすい社会をつくっていくのが行政の役割です。  
答1 県は、県民がよりくらしやすい社会をつくるため、さまざまな分野の仕事を行っています。



さまざまな分野で役  
割があるんだ。

<p>幼稚園、保育園、 私立学校への支援</p>	<p>高齢者や障害者の 医療費を一部負担</p>	<p>文化やスポーツの 振興</p>	<p>農業、林業、水産業の方 への支援</p>
<p>企業の誘致や 中小企業への支援</p>	<p>県が管理している 県道や河川の整備</p>	<p>公立学校での教育 や学校の建て替え</p>	<p>犯罪の予防や捜査、 交通の取締り</p>

問2 佐賀県は毎年どれくらいのお金を使っているの？

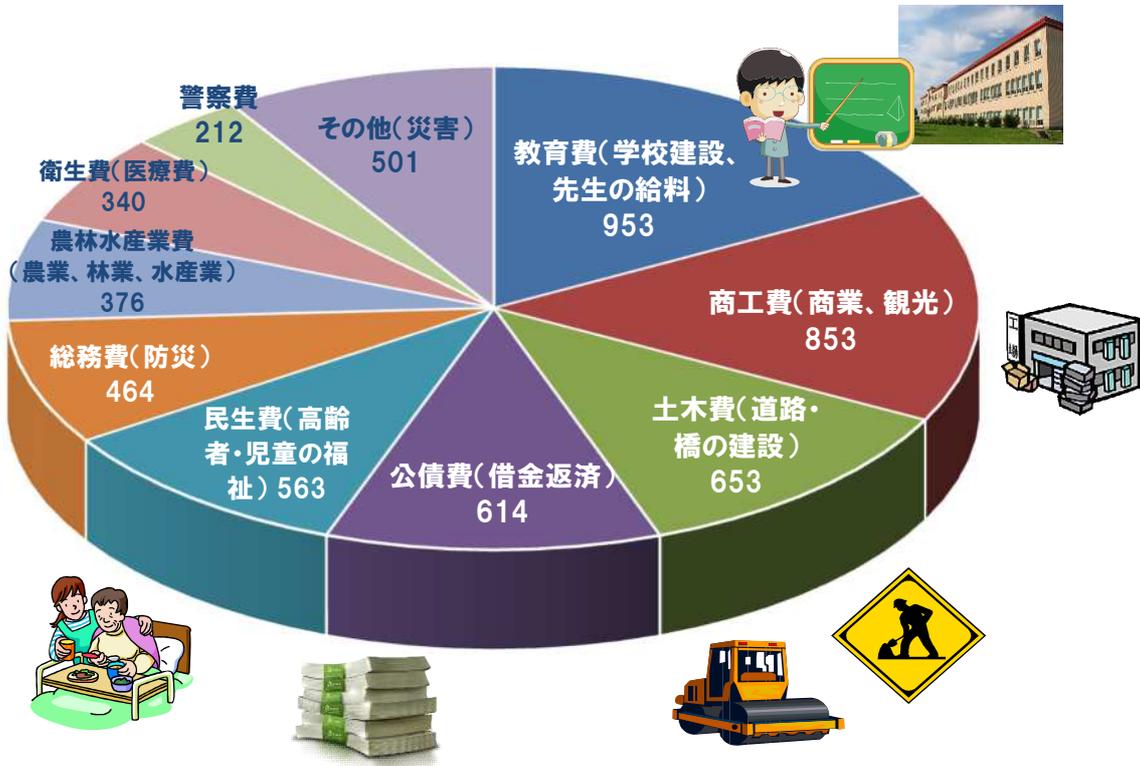
答2 最近の金額は下の図のとおりです。  
令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症への対応のため大きく増加しています。



**問3 そのお金はどういうことに使っているの？**

**答3** 小・中学校や高校などの教育費が 953億円、商業や観光業の支援などの商工費が 853億円、道路や橋の建設などの土木費が653億円などです。

佐賀県の支出の内訳(令和5年度決算)  
合計 5,529億円

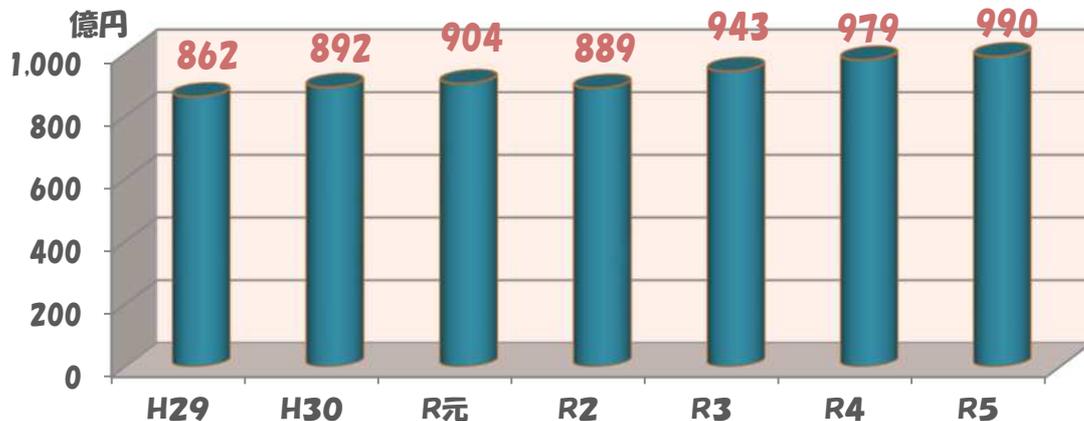


**問4 佐賀県には毎年どれくらいの税金が入ってきているの？**

**答4** 景気の動向で変動し、最近は900億円程度で推移しています。



景気の具合が、県の財政にも影響してくるんだ。



**問5 県税だけでは全然足りないようだけど、足りない分はどうしているの？**

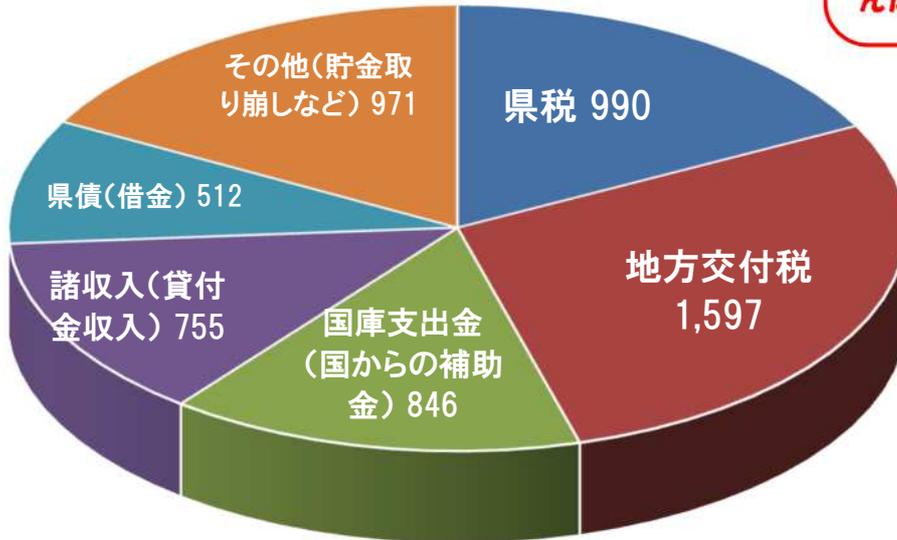
**答5** 地方交付税や国からの補助金を使ってやりくりしています。  
道路や橋など長い期間使えるものを造る時は、今の大人の世代だけで費用を負担するのではなく、将来の大人の世代にも負担してもらうため、いったんお金を借りて造り、それぞれの世代で借金を返済することになっています。

佐賀県の収入の内訳(令和5年度決算)  
合計 5,671億円



地方交付税と国庫支出金は国からもらっているお金。

収入の半分程度は国に頼っている状況なんだ。



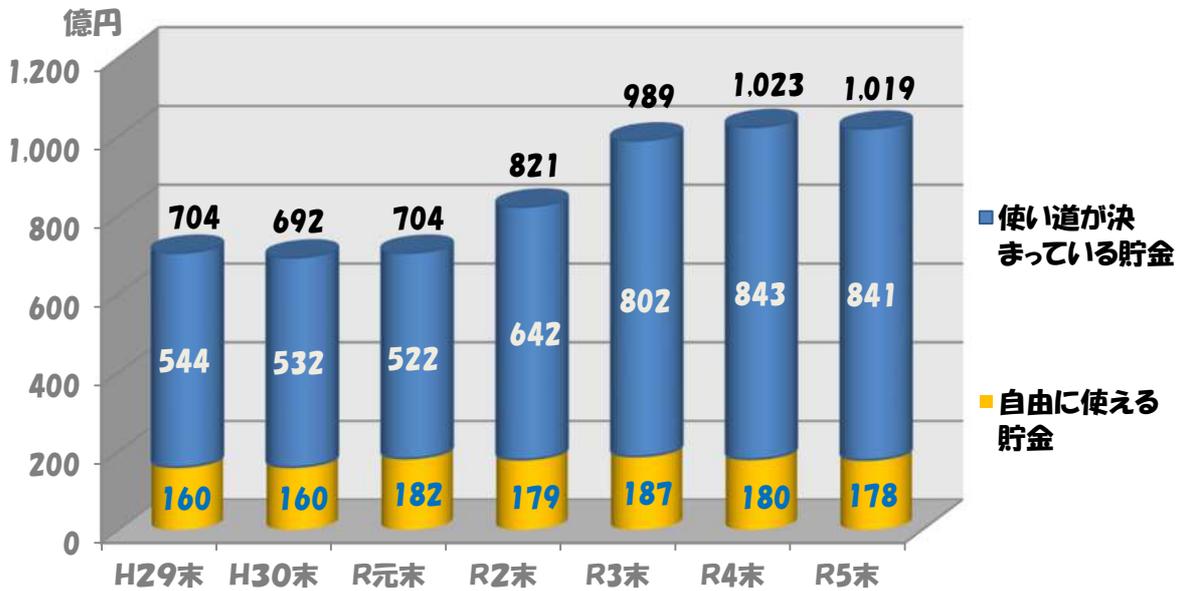
**問6 地方交付税ってどういうお金なの？**

**答6** 全国の都道府県の中には、企業や住民の数が多く、多くの税金が入ってくる団体と、企業も人も少なく税金があまり入ってこない団体があります。税金が少ないところでも、住民が一定水準のサービスを受けて、安心して暮らせるよう、国が団体間の均衡を図り、財源を保障するのが、「地方交付税」です。



**問7 佐賀県には貯金はどのくらいあるの？**

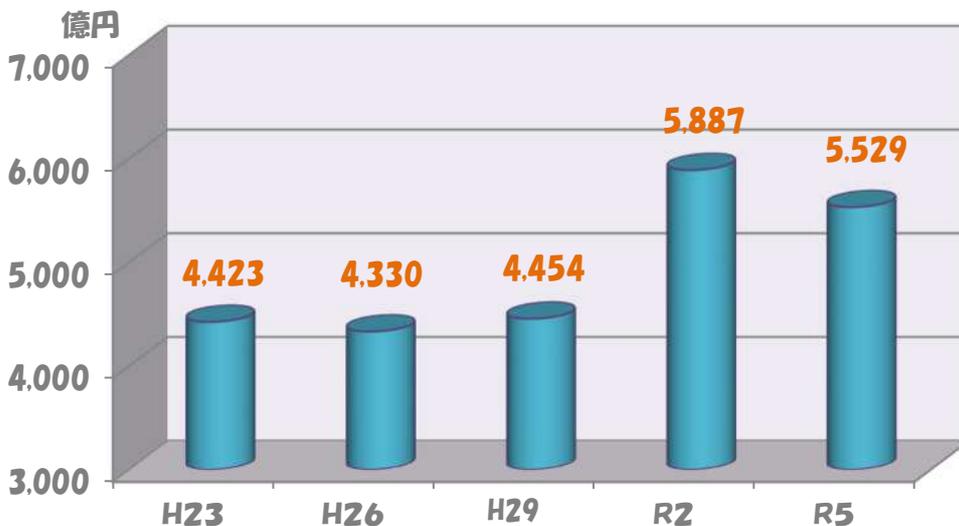
**答7** 1,000億円くらいです。そのうち自由に使える貯金は180億円くらいで、残りは使い道が決まっているため、自由には使えません。



自由に使える貯金は少ないんだ。

**問8 使うお金をもっと減らすことはできないの？**

**答8** 使うお金の多くは、義務的なものが多く大幅な削減は難しいですが、事業の見直しを行うなど最大限工夫をしています。使った金額を3年ごとに見てみると、下の図のようになっています。最近では新型コロナウイルス感染症への対応のため大きく増加しています。

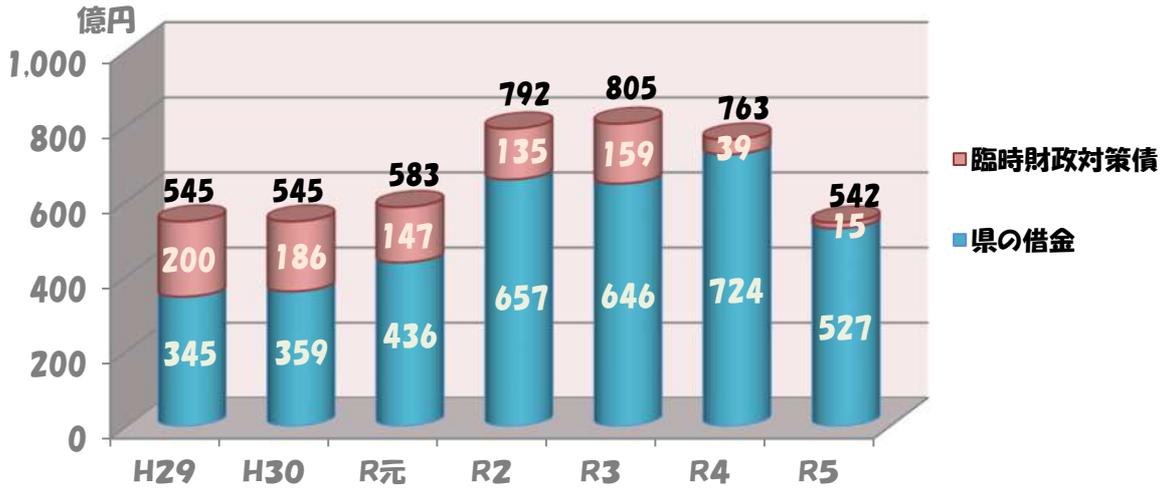


**問9 毎年どれくらいの借金をしているの？**

**答9** 500～800億円くらいです。借金の一部は、臨時財政対策債といって、国が地方交付税を払うお金が足りないのを、それを県が立て替えるための借金です。令和4年度までに大規模な施設の建設などを終えたため、令和5年度の借金は少なくなっています。

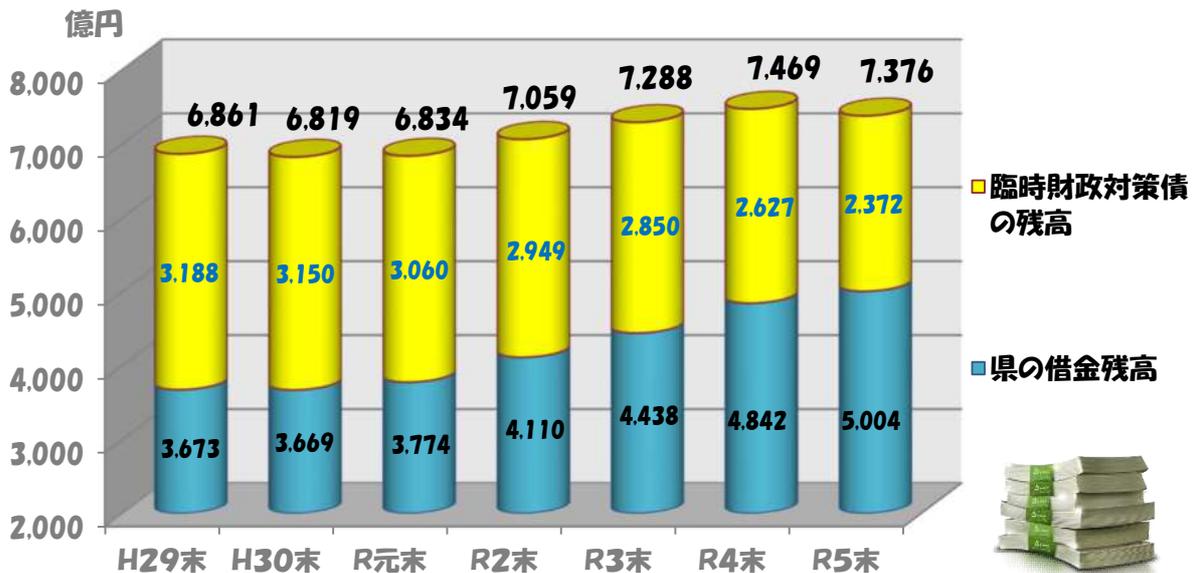


臨時財政対策債は減ってきていて、県として必要と考える事業のための借金が増えているんだ。



**問10 借金の合計額はどのくらいなの？また、その借金はちゃんと返していけるの？**

**答10** 全体で7,500億円くらいで、令和4年度がピークになっています。この借金を返すため一部を国が地方交付税の中に入れてくれたり、県で貯めておいたお金を使ったりして、きちんと返していけるようになっています。



問11 佐賀県の財政は、全国と比べてどうなの？

答11 都道府県の財政力を表す数値が何種類かあります。

**都道府県の財政状況を表す3つの数字**

**1. 経常収支比率(けいじょうしゅうしひりつ)**

(毎年入ってくるお金のうち自由に使えるお金の割合)

全国平均：92.5(自由に使えるお金の割合 7.5%。)

佐賀県：93.9(自由に使えるお金の割合 6.1%。)

**2. 実質公債費比率(じっしつこうさいひりつ)**

(収入に対する借金返済の負担がどれくらいかを表したもの)

全国平均：10.1(借金返済が10.1%を占めている。)

佐賀県：9.7(借金返済が9.7%を占めている。)

**3. 将来負担比率(しょうらいふたんひりつ)**

(将来的な借金返済や支払を約束したものがどれくらいあるかを表したもの)

全国平均：148.7(年収の1.5倍の借金がある。)

佐賀県：135.3(年収の1.3倍の借金がある。)

問12 今後、佐賀県の財政をよくしていくにはどんなことが必要なの？

医療費や福祉関係の経費が増加しています。

今後のことを考えると、佐賀県を住みやすくして多くの人に住んでもらったり、多くの税金を払ってくれる会社に佐賀県に来てもらうように努力し、入ってくる税金を増やし

答12 ていくことが大切になります。

また、県産品が県外や外国へもっと売れるように支援していくことも大切です。

佐賀県では、今後も引き続き、収入を増やす努力と、使うお金をなるべく節約する努力を続け、県の財政をよくしていきたいと考えています。

